

平成 19 年 5 月 30 日

「美しい日本の粹」応募状況の中間報告について

～私たち一人ひとりが思う、日本の“らしさ”“ならでは”とは～

「美しい国づくり」プロジェクト第一弾の公募「美しい日本の粹～伝えたい私たちの美しさ～」として、平成 19 年 4 月 20 日～6 月 22 日の間、自然、文化、芸術、伝統、技術、さらにはその中にある気質や感性など、あらゆるものを対象に、失ってしまったものも含め、なくしてはいけない日本“らしさ”や日本“ならでは”のものを広く募集しています。

公募開始からほぼ 1 ヶ月が経ち、これまでに幅広い年代、地域の方々から 1,800 件を超える多くのご応募を頂いていますので、このたび「美しい日本の粹」の応募状況を中間報告としてお知らせします。6 月 22 日の募集締め切りまで、より一層多くの方々からのご応募をお待ちしています。

応募総数：1,821 件（平成 19 年 5 月 25 日現在）

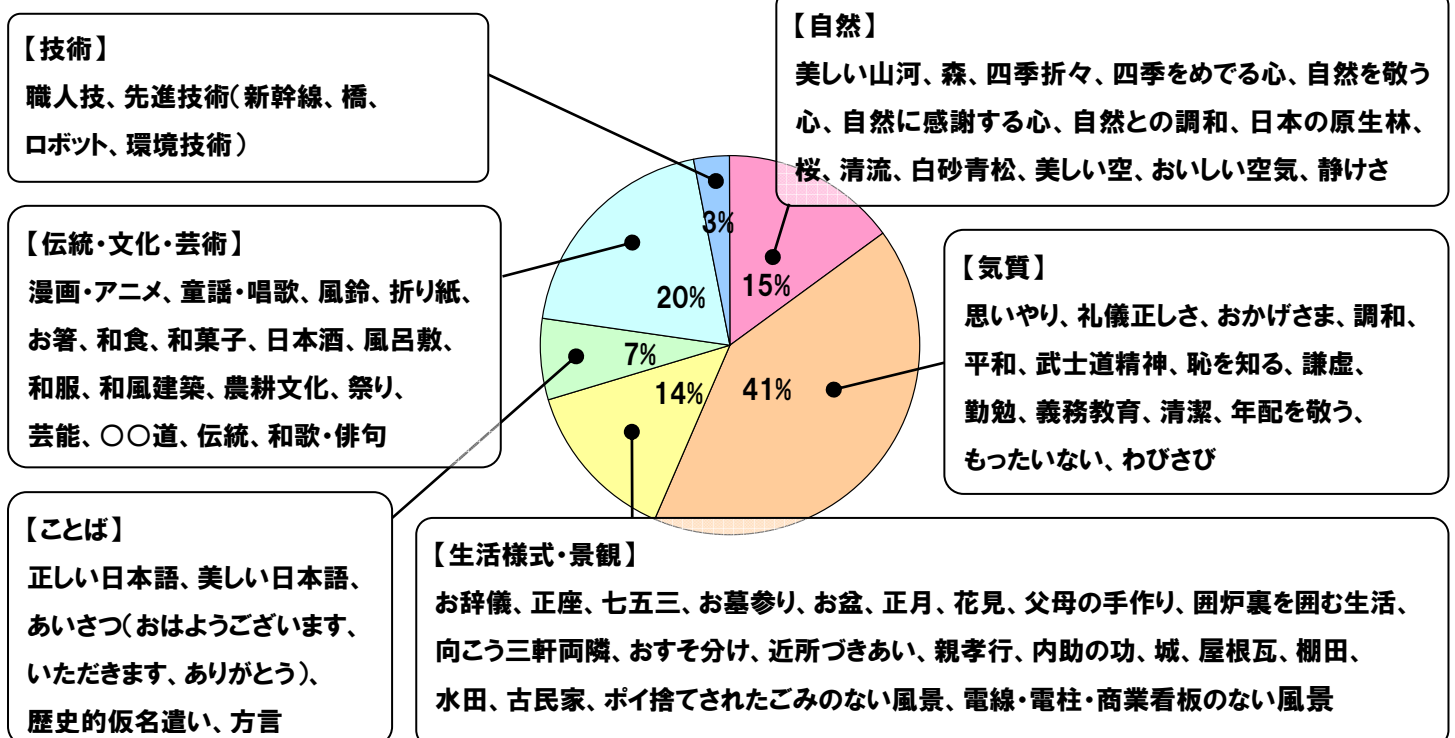
応募内容：調和や謙虚、おかげさま、もったいない、わびさび等の気質が応募の 4 割を占める。

その他漫画・アニメを含む伝統・文化・芸術、自然とそれを敬い感謝する心、年中行事や地域社会生活をはじめとする生活様式・景観の順に応募が多い（図参照）。

また、有形無形を問わず様々な日本“らしさ”や日本“ならでは”のものがある中で、さらに伸ばしていきたいものや国内では気付いていないものも含まれる（別紙 1 参照）

応募状況：男女比（男性 64.6%・女性 34.7%）、年代別（主に 30 歳代以降の幅広い年代から応募）、地域別（海外在住者も含め全国の幅広い地域から応募）の応募状況は別紙 2 参照

【図】 「美しい日本の粹」主な応募内容（応募総数 1,821 件の内訳）



「美しい国づくり」プロジェクトとは、私たち日本人一人ひとりが日本“らしさ”を見つめ直し、日本人“ならでは”の感性、知恵、工夫、そして行動に気づき共有し、こうした日本“らしさ”を、日々の暮らしや仕事の中で、磨き上げ、創り出していくことで、「美しい国、日本」を築いていくことを目指しています。この中で公募「美しい日本の粹^(すい) ～伝えたい私たちの美しさ～」は、日本“らしさ”や日本“ならでは”のものの募集を通じて、私たち一人ひとりが思う日本“らしさ”を、あらゆる世代の方々とともに身近な視点で見つめ直していく取り組みです。

ご応募いただく内容は、「美しい国づくり」プロジェクトの企画立案に反映させ、今後開催していく「美しい国づくり」企画会議を通じ、一人ひとりの日本“らしさ”や日本“ならでは”のものの中で、多くの人に共有できるもの、あるいは世界に通じる普遍的な価値のあるものを見つけ伝えていく取り組みに活かしていきます。

6月22日の募集締め切りまで、より一層多くの方々からのご応募をお待ちしています。

【本件に関わるお問い合わせ先】

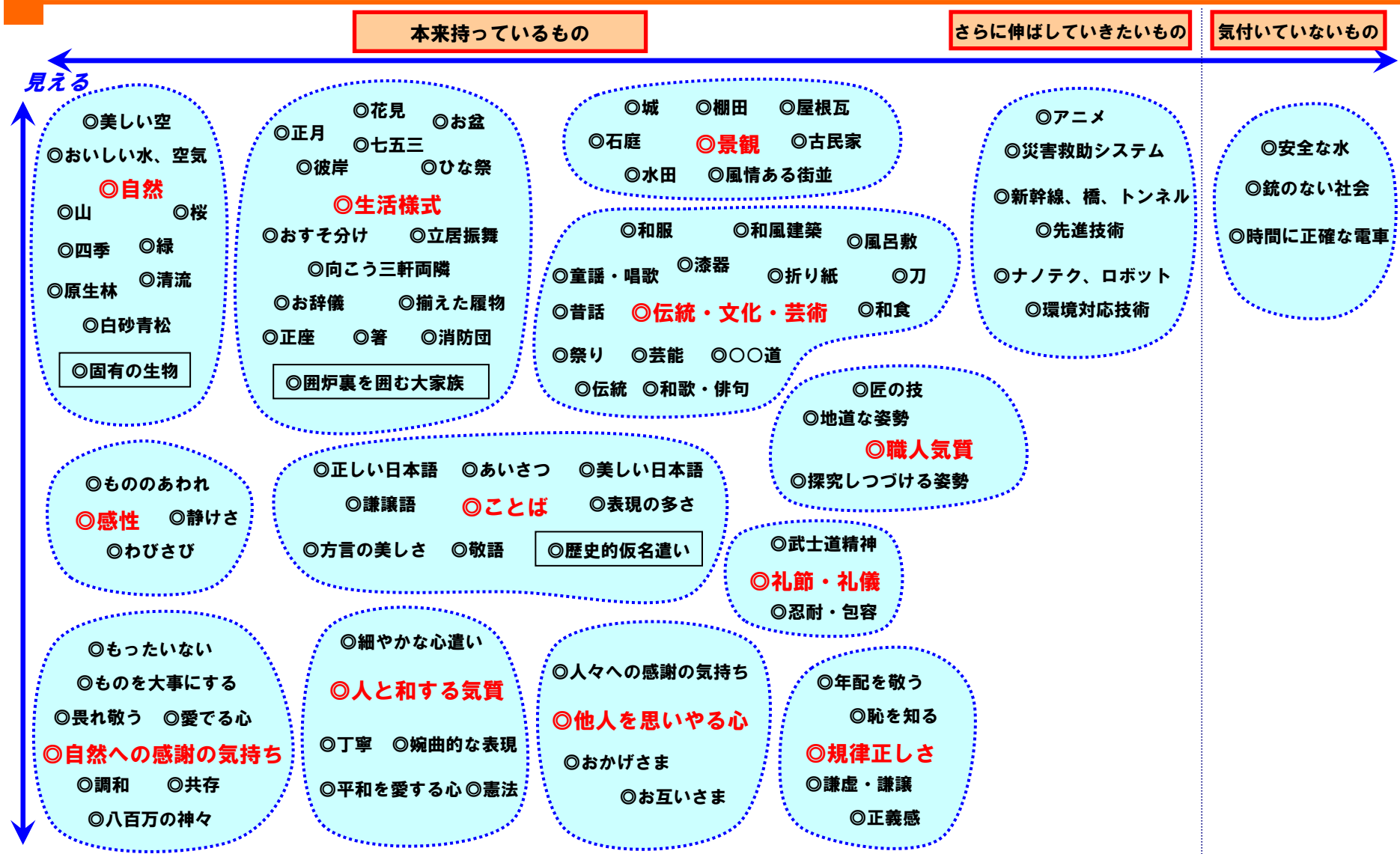
内閣官房 「美しい国づくり」推進室

Tel : 03-5472-1350

「美しい国づくり」プロジェクト 公式ホームページ

<http://www.kantei.go.jp/be-nippon/>

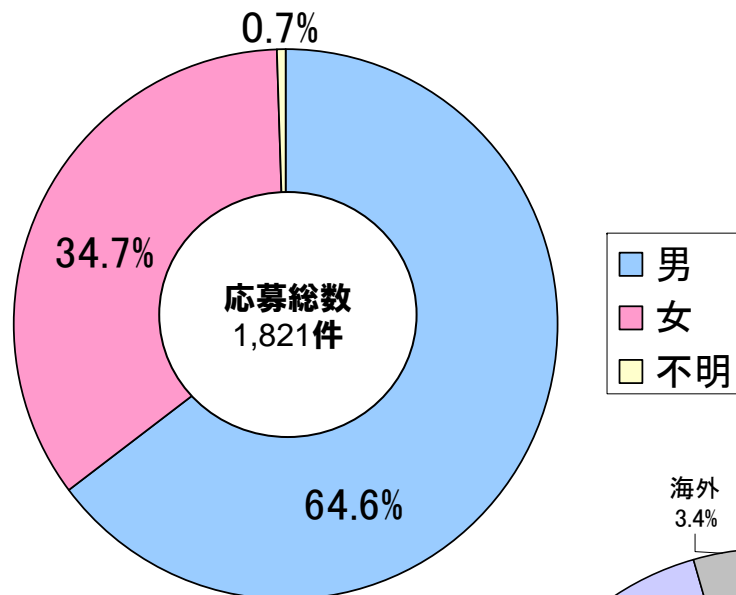
主な応募内容の関連図



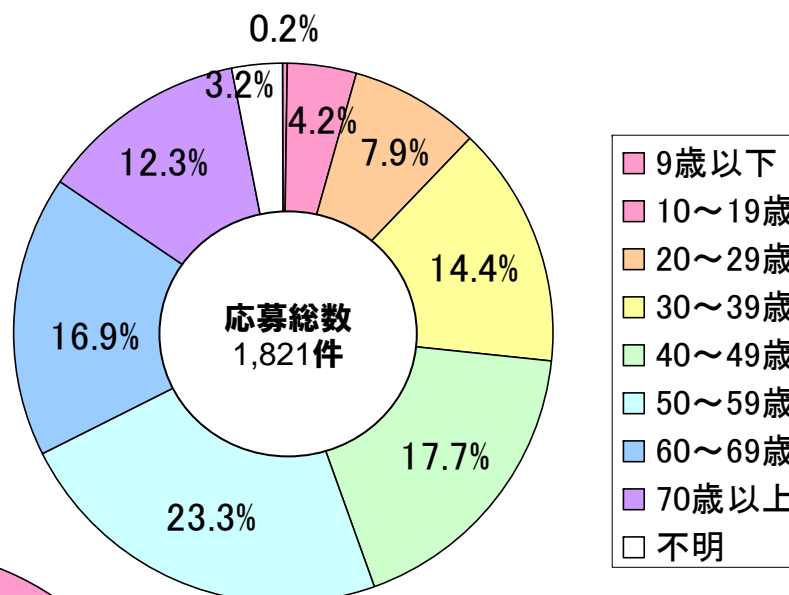
(注) は現在ほぼ失ってしまった状態にあるもの。

応募状況

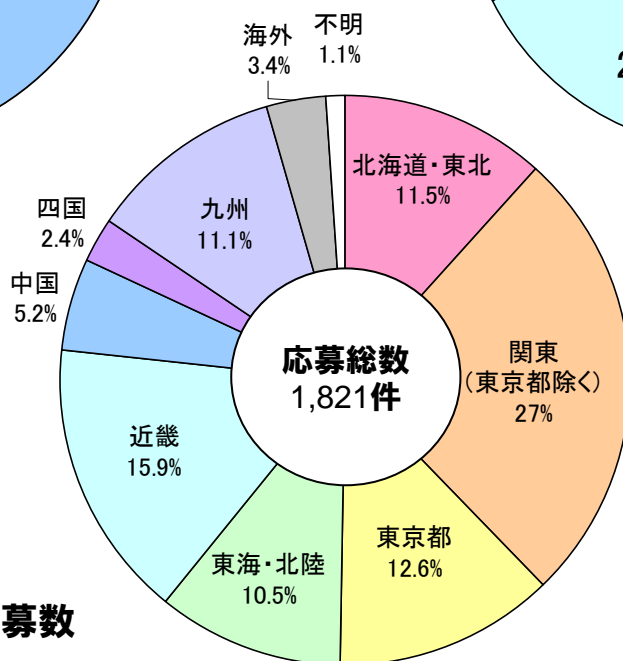
男女別応募数



年代別応募数



地域別応募数



※地域分類

北海道・東北：北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟

関東(東京都を除く)：群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、神奈川、山梨、静岡、長野

東海・北陸：富山、石川、岐阜、愛知、三重

近畿：福井、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫

中国：鳥取、岡山、島根、広島、山口

四国：香川、徳島、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

(参考1)

「美しい日本の^(すい)粋 ～伝えたい私たちの美しさ～」 募集概要

■ 募集内容

1. 日本の“らしさ”“ならでは”である「美しい日本の^(すい)粋」とは何ですか。(31字以内)
2. それを選ぶ理由は何ですか。また、それは、あなたの日々の暮らしの中で、どのようなものとして表れていますか。(100字以内)

の2点について、それぞれ日本語でご応募ください。

■ 応募方法

募集内容のほか、

①氏名、②年齢、③性別、④職業、⑤住所、⑥連絡先（電話番号又はメールアドレス）

を明記の上、「美しい国づくり」プロジェクト公式ホームページにてご応募いただくか、または以下の宛先まで手紙またはハガキにてお送りください。

(1) 「美しい国づくり」プロジェクト公式ホームページ

<http://www.kantei.go.jp/be-nippon>

(2) 郵送（手紙又はハガキ）での応募宛先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-2-2 虎ノ門 30 森ビル 1 階

内閣官房 「美しい国づくり」推進室 「美しい日本の^(すい)粋」係 宛

■ 募集期間

平成19年4月20日（金）～6月22日（金）（当日消印有効）

■ お問い合わせ先

（電話）03-5472-1350 「美しい日本の^(すい)粋」係 （9:30～18:00 土日祝日除く）

- 応募内容を確認するため、ご記入いただいた連絡先に連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- この応募において記入いただいた全ての個人情報は、内閣官房にて厳重に管理し、本企画を運営するために必要な範囲でのみ使用させていただきます。
- ご応募いただいた段階で、応募内容の著作権は内閣官房に帰属するものとします。
- 応募状況のお問い合わせには、応じられません。
- ご応募いただいた内容に不備がある場合は、応募が受け付けられない場合があります。

(参考2)

「美しい国づくり」プロジェクト 経緯と趣旨

1. 経緯

平成18年9月29日、安倍総理は、所信表明演説にて「私が目指すこの国のかたちは、活力とチャンスと優しさに満ちあふれ、自律の精神を大事にする、世界に開かれた、『美しい国、日本』であります。」「日本を、世界の人々が憧れと尊敬を抱き、子どもたちの世代が自信と誇りを持てる『美しい国、日本』とする」と述べました。また「この『美しい国』の姿を、私は次のように考えます。一つ目は、文化、伝統、自然、歴史を大切に作る国であります。二つ目は、自由な社会を基本とし、規律を知る、凜とした国であります。三つ目は、未来へ向かって成長するエネルギーを持ち続ける国であります。四つ目は、世界に信頼され、尊敬され、愛される、リーダーシップのある国であります。」と述べました。

続いて平成19年1月26日、安倍総理は、施政方針演説にて「我が国の理念、目指すべき方向、日本らしさについて、我が国の叡智を集め、日本のみでなく世界中に分かりやすく理解されるよう、戦略的に内外に発信する新たなプロジェクトを立ち上げます」と述べました。

これを受け、平成19年4月3日に、日本画家の平山郁夫氏を座長とし、各界の有識者12名に内閣官房長官及び内閣総理大臣補佐官を加えた「美しい国づくり」企画会議の第1回会議が開かれ、「美しい国づくり」プロジェクトが立ち上がりました。これに先立ち、平成19年3月23日に、企画会議での提言、意見等を受け具体的な企画及び事業を推進するため、内閣官房に「美しい国づくり」推進室が設置されています。

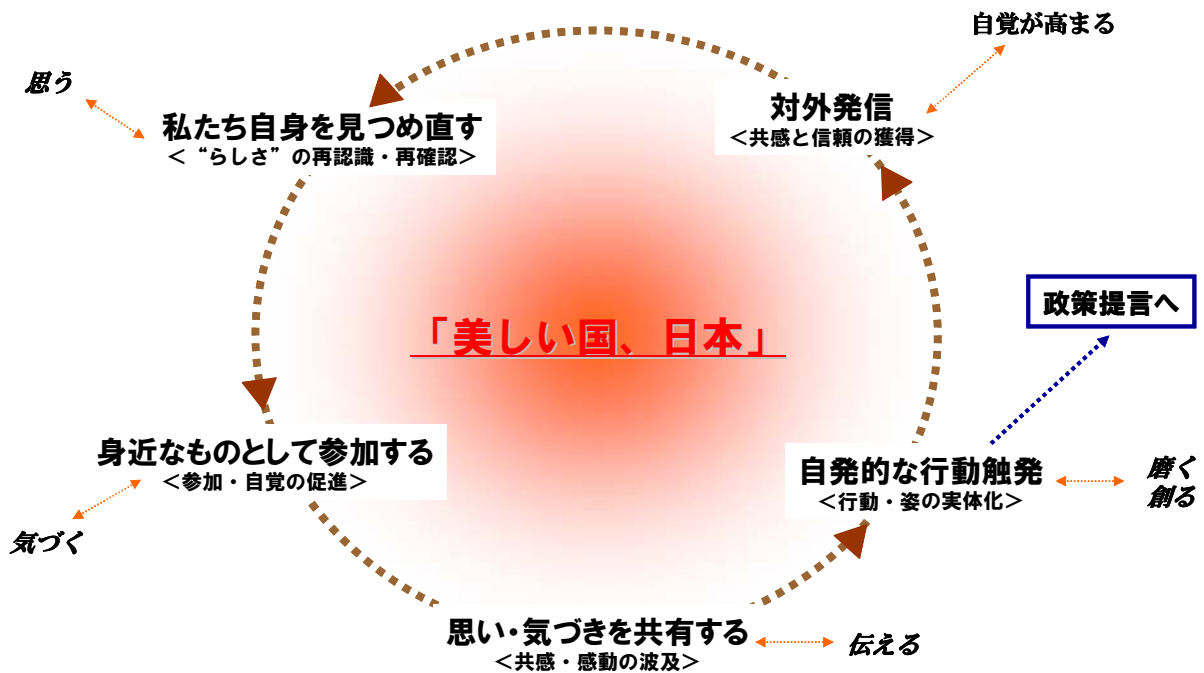
2. 趣旨

「美しい国づくり」プロジェクトとは、私たち日本人一人ひとりの「美しい国づくり」へのきっかけを創る取り組みです。

私たちの国、日本には、様々な分野で本来持っている良さや「薫り豊かな」もの、途絶えてはいけなないもの、失われつつあるもの、これから創っていくべき美しいものがあることを踏まえながら、私たち一人ひとりが日本“らしさ”を見つめ直し、各種企画への参加を通じて、日本“ならでは”の感性、知恵、工夫、そして行動に気づき共有し、そのことを日々の暮らしや仕事の中で磨き上げ、創り出していくことで、「美しい国、日本」を築いていくことを目指しています。

また、こうした私たちの姿や行動を世界に発信することで、世界から理解や共感を得て、愛され、信頼につなげていくことを目指しています。こうした取り組みを繰り返すことで、私たち自身の誇りや自覚を促し、私たちの国の未来を確固たるものにしていきます。

【美しい国づくりプロジェクトの進め方】



※「美しい国づくり」企画会議とは

「美しい国づくり」企画会議は、文化・芸能・歴史・産業など各界の有識者の参加を得て、「美しい国づくり」プロジェクトの推進に必要な企画について審議する会議です。平成19年4月3日に第1回会議、5月30日に第2回会議がそれぞれ開催され、今後も月1回の開催を目途としています。

○「美しい国づくり」企画会議 有識者

- 【座長】 平山郁夫 日本画家
- 【座長代理】 山内昌之 東京大学大学院総合文化研究科 教授
- 石井幹子 照明デザイナー
- 井上八千代 京舞井上流五世家元
- 岡田裕介 東映株式会社 代表取締役社長
- 荻野アンナ 作家・慶應義塾大学文学部教授
- 川勝平太 静岡文化芸術大学 学長
- 庄山悦彦 株式会社日立製作所 取締役会長
- 田中直毅 国際公共政策研究センター 理事長
- 中西輝政 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授
- 弘兼憲史 漫画家
- 松永真理 株式会社バンダイ 取締役